

令和5(2023)年度北海道大学大学院法学研究科  
修士課程入学者選考試験(第2次)問題

試験科目名： 行財政論

持込み等： 不可

---

第1問

日本の地方税の特徴を最近の状況を踏まえて説明しなさい。(50点)

第2問

官民連携の特徴を述べた上で、その課題を具体例とともに一つ挙げ、その対応策

についてあなたの考えを述べなさい。(50点)

令和5(2023)年度北海道大学大学院法学研究科  
修士課程入学者選考試験(第2次)問題

試験科目名： 政治学

持込み等： 不可

---

以下の問いに答えなさい。

(1) 21世紀において、ポピュリズムが民主主義に対して持つ意味を、論じなさい。論述にあたっては、はじめに「ポピュリズム」の定義を示すこと。

(50点)

(2) 20世紀後半以降の福祉国家の歴史を振り返り、21世紀における福祉国家の存続の可能性について論じなさい。

(50点)

令和5(2023)年度北海道大学大学院法学研究科  
修士課程入学者選考試験(第2次)問題

試験科目名: 行政学

持込み等: 一切不可

---

以下の問1, 2をすべて解答しなさい。

- 1, 日本の租税の政策過程の特徴について、他国や他分野と比較して論じなさい(50点)。
- 2, 「規模とデモクラシー」の関係について論じなさい(50点)。

令和5(2023)年度北海道大学大学院法学研究科  
修士課程入学者選考試験(第2次)問題

試験科目名： \_\_\_\_\_ 法哲学 \_\_\_\_\_

持込み等： \_\_\_\_\_ 不可 \_\_\_\_\_

---

問題： 次の問1と問2に解答しなさい(解答順序は問わないが、解答に際してはどの問に対する解答かを明示すること)。

問1： 次の(1)～(5)のうちから三つ選んで、それぞれについて3～5行ほどで説明しなさい。(20点×3)

(1) 次の二つの概念について、両者の違いがわかるように説明しなさい。

規則帰結主義 間接帰結主義

(2) 次の概念について、「ナッジ」という語を用いつつ、通常のパターナリズムとの違いがわかるように説明しなさい。

リバタリアン・パターナリズム

(3) 次の二つの概念について、両者の関係性がわかるように説明しなさい。

水準低下批判 優先主義

(4) 次の二つの概念について、両者の関係性がわかるように説明しなさい。

意味論の毒牙 論争的概念

(5) ロン・フラーの「法の内的道徳の八原理」のうち、三つを挙げてその内容を説明しなさい。その際にはフラーにとって法とはいかなる企てであるかについても言及すること。

問2： 以下の事例を読んで次の小問(1)と小問(2)に解答しなさい(40点)

あなたはU国の大統領です。ある日隣国であるR国の軍隊が自国の領土に侵攻してきました。敵国から自国の領土と国民を守る必要を感じたあ

あなたはU国憲法によって大統領に与えられた権限に基づき、国民総動員令を出し、それと同時に国内にいる徴兵対象である18歳から60歳までの男性国民の出国を禁止する大統領令（以下、単に「出国禁止令」と記す。）を出しました。

諸外国の支援を得てU国軍は善戦。勇猛果敢に戦う自軍兵士の士気と、R国軍の拙劣な指揮命令系統の問題とも相まって、敵国を領土の南東部まで押し返したのです。他方で戦線はそこで膠着し、当初は一丸となっていたU国民の間でも戦争疲れが出始めました。とりわけ出国禁止令については反対も多く、ある日一人のU国民が出国禁止令を解除して18歳から60歳までの男性市民の出国を自由化するよう訴える請願を、27,000人分の署名とともにあなたに対して行いました（U国の総人口は4,000万人）。

多くの署名を前にして何らかの応答をする必要を感じたあなたは、以下の4つの案を検討することにしたのです。

A案： 現状維持。18歳から60歳までの男性市民の出国禁止を継続する。

B案： 18歳から60歳までの男性市民を含め、全国民の出国を許可する。

C案： 出国禁止を18歳以上の全国民（女性も含む）に拡大し、すでに出国したU国民に対しては罰則を伴う帰国義務を課す。

D案： C案を採用した上で、一定額の税（額は所得に応じて累進的に課される）を支払った者についてのみ出国を許可する。すでに出国したU国民に対しては同様の税を送金した者についてのみ帰国義務を解除する。

※ 以下の事実は解答の前提にしてよい。

- ① 18歳から60歳までの男性市民のみに兵役を課すことはU国の法律で定められている。U国憲法上は「市民」の国防義務のみが謳われている。
- ② R国との抗戦開始以来、多くのU国民が積極的に軍に志願しているため、徴兵対象である18歳から60歳までの男性市民のうち、意に反して招集された者は少数にとどまっている。

小問（1） 上記のA～D案のうち、U国大統領としてあなたはどれを採用すべきか選択しなさい。なお、いずれの案にも賛同できない場合にはあなた独自の案を提案してもよい。

小問（2） （1）であなたが選択（ないしは提案）した案が他の案よりも優れていることを、それを正当化する正義構想ないしは理論を特定した上で論じなさい。

令和5（2023）年度北海道大学大学院法学研究科  
修士課程入学者選考試験（第2次）問題

試験科目名： 日本政治思想史

持込み等： 不可

---

【問1】 徳川期から維新时期の日本の思想家たちは「人心」の統合という課題にいかに対応しようとしたか、複数の主張をとりあげ、比較しつつ論じなさい。（配点50点）

【問2】 近代日本における「人権」論について、任意の複数の思想家の主張をとりあげ、比較しつつ論じなさい。（配点50点）